

第11号

令和5年度 長崎市立長崎中学校 学校だより

覚悟

R5.7.20 発行
校長：種吉 信二

1 学期終業式

本日は1学期の終業式を行いました。終業式の中で生徒に「しなやかに考える夏に 挑戦する夏に」と「情報に流されない夏に」ということについて話をしましたので以下に紹介します。

「しなやかに考え、挑戦する夏に」についてお話しします。今年度から長中は育成課題を「しなやかに考え、あきらめずに挑戦する」としました。このことを実現するために、「総合的な学習の時間を中心に達成が困難な課題にあえて挑戦」「各教科で自ら計画を立てた学習や対話による主体的な課題解決」そして、「行事や学級活動においてだれ一人取り残さない集団作り」の三つを取組の柱としています。

2・3年生は起業体験学習で株式会社の設立のためのプレゼンに挑戦しました。この学習を通じて、地域貢献の意味について以前よりも真剣に考えたり、みんなが納得するための協議を何度も重ねてより良いものを作ろうとしたりする姿を見ることができました。活動を重ねながら学習前とは異なる自分を発見できたと思います

ところで、みなさんの中には、「どうせ自分ではできないから」「才能がないから」「生まれつき頭が悪いから」という理由をつけて努力をあきらめたり、あるいはその反対で、できない自分を認めたくないからあえて挑戦しない人はいませんか。

この絵を見てください。これはベティ・エドワースが自著「脳の右側で描け」の中で紹介している絵のレッスンを受ける前と後の自画像です。どんなに絵の才能がないと思っている人でも、絵を描くための指導を受ければこんな絵が描けるようになります。線の角度、空間、位置関係、陰影、明暗、そして全体をとらえる力そうした個々のスキルを習得すればこのような絵を描くことができるのです。能力を伸ばすためには、うまくなるということを感じてスキル獲得のための努力をすることが大切なことがわかります。

できないとか才能がないというのは自分が作り出した妄想です。うまくいかないことは失敗ではなく成功のための経験と考えることができれば、どんなことでもきつとうまいくようになります。あきらめなければ失敗ではないのです。

夏休みは時間がたっぷりあります。1学期の経験を生かして挑戦する夏休みにしてほしいと願います。その際、安全には特に留意して活動をするようあわせてお願いします。

「情報に流されない夏に」についてお話しします。この写真を見てください。これはアメリカのトランプ元大統領が逮捕されたという偽画像です。生成AIの危険性を知らせるために作成されたものですが、瞬く間に世界中に拡散してこの画像を信じる人も多数いました。

人間は信じたいものを信じる傾向があります。SNSであふれている情報には今見てもらったようなフェイクニュースが多く含まれています。自分が興味を抱いていることに関わる情報に触れるときは特に注意が必要です。自分はだまされたいと思っていてもネットの世界では巧みに私たちの心のすきをついてきます。

SNSで情報を発信するときは自分の顔を出さない、名前や住所を明かさない、住所や所属を特定できるような書き込みや写真は載せないといったことに気を付けましょう。例えば、この写真を見てください。家の前で撮った写真ですがこの写真には位置情報が含まれます。主要なSNSでは写真をアップする際に位置情報は消されるそうですが、すべてのSNSがそういう対応をとっているとは限りません。また、写真に写っている情報だけでも自宅を特定される可能性は大きいです。

道具は使う人の考え方ひとつで私たちの生活を豊かにすることもあれば、たちまちのうちに不幸にしてしまうこともあります。特に情報に接するときは批判的に情報を見るようにして、決してだまされない、おかしいと思ったら信頼できる大人に相談するようにしてください。また、人を傷つけるような使い方にならないよう細心の注意を払ってほしいと思います。

※写真については掲載していません。

熱中症防止について

先日、部活動のキャプテンを集めて担当の職員が夏休み中に部活動を行う際の注意点を確認しました。活動中の事故で特に心配なのが熱中症です。活動の可否を決める目安として熱中症計を、外で活動する部には各部に貸与し、体育館で活動する部には体育館に備え付けています。熱中症は発症すると生命の危機に直面することから熱中症計の暑さ指数(MBGT)が3.1を超えたら活動を中止するようにしています。

ご家庭に置かれましても十分な水分と塩分を摂取することや食事をしっかりととること、睡眠時間を確保することに留意してくださるようお願いいたします。